

千葉市中央区町内自治会連絡協議会

第 2 回 理 事 会

日時 令和2年6月29日(月)

午後3時00分～

場所 きぼーる15階ボランティア活動室1・2

2 議題（1）令和2年度要望事項について

1 地区連協別提出状況

地 区	要 望 事 項 件 数 (件)	
	令和2年度	前 年 度
第2地区	0	0
第3地区	1	0
第4地区	0	0
第5地区	2	1
第8地区	0	0
第9地区	4	3
第13地区	2	2
第15地区	0	1
第16地区	4	3
第21地区	0	0
第27地区	1	1
都 地 区	0	0
第4・5地区		1
計	14	12

2 分類方法

分 類	要 望 事 項 の 内 容
市連協要望	国や県に要望するもの。
区連協要望	中央区の特徴的問題であり、区内共通の課題で要望するもの。
市政相談	地域住民共通の身近な問題であり、地元町内自治会や住民だけでは解決が困難で、行政と協力して処理することが必要なもの。

- ・ 市連協要望は、市連協会議を経て国や県へ提出します。
- ・ 区連協要望は、理事会の承認後、中央区長へ提出します。
- ・ 市政相談は、地域振興課長から所管課へ依頼します。

令和2年度中央区町内自治会連絡協議会 事項一覧

No.	地区	要望事項 ※ → 継続要望	市	区	市政	担当課
1	第3地区	鶴沢町及び旭町において繰り返し発生する浸水被害の改善			○	建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課 建設局下水道建設部雨水対策課 建設局下水道建設部下水道維持課
2	第5地区	※ モノレール駅名変更「葎川公園」を「中央広場」へ			○	都市局都市部交通政策課
3	第5地区	※ 京成西登戸・新千葉駅利便性改善に市の協力を			○	都市局都市部交通政策課
4	第9地区	※ 市道大巖寺50号線等の安全対策について			○	建設局道路部道路計画課 建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課
5	第9地区	中央区南町「蘇我駅前」「菰池公園」交差点信号機を歩車分離式に変更をお願いしたい			○	市民局市民自治推進部地域安全課
6	第9地区	蘇我1-34-8(地番)より、北及び東方面の側溝を暗渠として整備した後に歩道としての活用を図る			○	建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課 建設局下水道建設部雨水対策課
7	第9地区	避難所として活用する集会所の備蓄品について			○	総務局防災対策課
8	第13地区	※ 村田町19号線上の生浜踏切の拡幅及び前後道路の整備について			○	建設局道路部道路計画課 建設局道路部街路建設課
9	第13地区	※ 都市計画道路の早期着工・完成について「仁戸名町～古市場町線」			○	建設局道路部道路計画課
10	第16地区	※ 都市計画道路「加曾利町大森町線」の早期整備について			○	都市局都市部交通政策課 建設局道路部道路計画課 建設局道路部街路建設課 教育委員会教育総務部学校施設課
11	第16地区	松ヶ丘町23・6号線の道路整備について			○	市民局市民自治推進部地域安全課 建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課 建設局道路部道路計画課
12	第16地区	仁戸名町16号線の道路整備について			○	建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課
13	第16地区	仁戸名町87号線の道路舗装改修について			○	建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課
14	第27地区	町会の集会場を避難所として活用するにあたって必要な備品の準備について			○	総務局防災対策課

令和2年度 中央区町内自治会連絡協議会要望事項一覧

No.	地区	要望事項 ※ → 継続要望	要 望 要 旨	市	区	市政	担当部局	担当課
1	第3地区	鶴沢町及び旭町において繰り返し発生する浸水被害の改善	<p>市立鶴沢小学校周辺と旭町30番地付近において大雨のたびに発生する浸水被害の改善をお願いするものであります。直近では、昨年(令和元年)台風15号、19号の大雨による被害が発生し、雨水のみならずマンホールから汚水が噴出し極めて不衛生な状況になり2日後に付近一帯の消毒をして頂いております。旭町においては、3軒の床下浸水が生じました。各地において短時間に100mmを越す大雨による被害が生じている今日、早期に対応を要望致します。</p>			○	建設局 土木部 下水道建設部	中央・美浜 土木事務所 維持建設課 雨水対策課・ 下水道維持課
2	第5地区	※ モノレール駅名変更「葭川公園」を「中央広場」へ	<p>平成28(2016)年、中央区のにぎわいを担っていた千葉パルコが、また翌年には永く千葉県、千葉市の高級消費のシンボルであった三越千葉店が営業停止、閉鎖され、千葉銀座、富士見などの千葉市の中心商店街の灯がさらに暗くなった。一方、平成28年JＲ千葉駅の改築が竣工し、駅ビル内の店舗街が拡充され、乗降客以外の近隣住民も「エキナカ」へ押し寄せている。千葉市中心街の再興のためには、中心街への交通アクセスが生死を握っている。千葉銀座や富士見町などの中心街のモノレール近接駅は「葭川公園駅」であるが、読みの難しさや知名度の低さから、どこにあるかも知らない市民が大半である。一方、すぐそばの「中央公園」はさまざまなイベントが催され、文化センターなどの文化施設にも近く、市民の集いの中心になっているが、その近接駅は知られていない。</p> <p>平成29(2017)年から千葉開府900年の2026年に向けて、千葉神社前の通町公園と中央公園を連結させる公園再整備計画が進められており、葭川公園を加えた3公園を連結させた中央区の広場が造られる予定である。この周りには千葉パルコ跡地の商業施設なども建設中である。</p> <p>以上のことから、モノレール駅名を「葭川公園」から「中央広場」に変更し、葭川公園、中央公園、通町公園をつなげる中央区の広場の駅として、にぎわいの場と、きぼーる・中央区役所、市美術館などの公共施設のアクセスの駅として市民に認知されることを期待したい。</p>			○	都市局 都市部	交通政策課
3	第5地区	※ 京成西登戸・新千葉駅利便性改善に市の協力を	<p>京成西登戸駅、新千葉駅は登戸、汐見・春日、新千葉地区の住民が千葉や東京方面に出る際の重要な交通機関ですが、50年前のホーム延長に伴う改築以来、千葉方面に出る場合、改札口から高い跨線橋を渡って反対側ホームに行かなければなりません。このため高齢者、車いす使用者や障害者、ベビーカー使用の幼児の家族などには大変不便です。私達は平成17年から14年間要望書を提出し、毎年千葉市長や京成本社などにこの状況の改善を訴えてきました。西登戸駅の利用客は昨年(2019年)平均1日約2,800名となり、また、新千葉駅もJＲ千葉駅の改築や西口地区の再開発が進行して利用者は増えています。</p> <p>平成30年5月、京成本社で幹部と面会し、常務・鉄道本部長から同年度より施行される「高齢者、障害者等の移動等の円滑化促進の法改正」に合わせて地元のバリアフリーのまちづくり計画と連携して進めたいという前向きな回答が得られ、昨年(令和元年)10月京成電鉄から「西登戸駅リニューアル計画」が提示されました。令和2年9月駐輪場移転、駅舎新設工事開始、令和3年跨線橋撤去、新設のスロープ(補助金工事)をして令和4年に供用開始するべく工事が近々始まります。</p> <p>西登戸駅の駐輪場の移転やバリアフリースロープ新設に関しては千葉市の支援と協力をお願い致します。</p> <p>新千葉駅周辺もJＲ千葉駅西口の新千葉2、3地区開発の準備組合が発足し、町の整備が一層進みます。それに合わせて近接する京成新千葉駅も跨線橋を撤去してリニューアルされることを千葉市としても応援してください。</p>			○	都市局 都市部	交通政策課
4	第9地区	※ 市道大巖寺50号線等の安全対策について	<p>この要望は市道仁戸名115号線と大網街道の交差点から西福寺下交差点までの約1.6km区間の安全対策についてのもので昨年も要望いたしました。地元で感じている危険箇所は主なものでも8ヶ所ほどあり(別紙①～⑧)、そのうち重要課題の1つである西福寺下交差点の改良(別紙③)については借号機のス克蘭ブル化をはじめ対応していただき、現在、その効果を評価しているところです。また、もう一つの重要課題の花輪町166番地先の交差点の改良(別紙④)については路面標示の追加等は行ってまいりましたが、心配な状況が続いています。</p> <p>昨年の要望に対する回答として、「整備の必要性について検討するため、現地調査等を行ってまいります。」とありましたので、早急に交通量調査を含む現地調査を実施していただき、手をうてるものから逐次実施することを要望します。</p> <p>なお、別紙①はクランク状カーブでバス・トラック等の大型車がくると対向車は通行不可。②は山側から土砂等が道路上に崩れ、歩行スペースがない。③の交差点は見通しが悪く、急坂を下りてくる自転車等との接触事故多い。⑤⑥⑦カーブで道中狭く小さな接触事故多い等の状況です。</p>			○	建設局 道路部 建設局 土木部	道路計画課 中央・美浜 土木事務所 維持建設課

令和2年度 中央区町内自治会連絡協議会要望事項一覧

No.	地区	要望事項 ※ → 継続要望	要 望 要 旨	市	区	市政	担当部局	担当課
5	第9地区	中央区南町「蘇我駅前」 「菰池公園」交差点信号機 を歩車分離式に変更をお願い したい	蘇我駅前、菰池公園交差点は、通勤、通学時に歩行者が多く、右左折の自動車による危険が絶えない。 特に「菰池公園」交差点は、隣接する宮崎小学校の多くの児童が、登下校に利用する信号機である。 歩行者の安全のため、また、青葉の森通りの渋滞解消のため、早急に、信号機を歩車分離式に変更して頂きたい。				市民局 市民自治推進 部	地域安全課
6	第9地区	蘇我1-34-8(地番) より、北及び東方面の側溝 を暗渠として整備した後 に歩道としての活用を図る	蘇我1-34-8(地番)(千葉南税務署入口交差点)から北方向、蘇我小学校方面及び東方向、蘇我中学校方面に向かう道路 に沿って水路が設置されていてこの周辺の居住者は橋を架けて住居からの往來を確保している。 掛けられた橋も設置から50年以上を経過して崩壊する事故も想定されているのでこの水路を暗渠として整備して施工面を 歩道として使用し通学等に利用する歩行者の安全性と利便性を確保したい。 なお、本要望に対しては周辺住民52名の賛同を得ています。				建設局 土木部 下水道建設部	中央・美浜 土木事務所 維持建設課 雨水対策課
7	第9地区	避難所として活用する集會 所の備蓄品について	各町内自治会で組織する自主防災会に対して、資機材購入・貸借助成金制度があり、最大1/2までの補助が受けられてきた。 補助対象となる資機材については、細かく指定されているが、最後に「その他市長が認めるもの」との項目もあった。 当地区の避難所である南高校では、避難所として使用可能なスペースが狭く、想定避難者の半分もとても収容できない為、各町 内自治会の集會所も補助的な避難所とすることを考え、そこに備える備蓄品として非常食・水を取り上げ、この購入に資機材購入 助成金の使用を要望してきたが、認められてこなかった。 本年度に入って、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針が示され、この中で町内自治会等で所有する集會 所について避難場所として活用できる様お願いが示された。 こうした避難場所には非常食や水は必ず必要であり、本来行政ですぐ準備すべきものだとは思いますが、時間がかかることも想定 し、資機材購入助成金制度の「その他市長が認めるもの」での購入を申請したが、認められなかった。 なぜ認めないのか理由を明確にするとともに、集會所避難場所の備蓄品対応を要望する。				総務局	防災対策課
8	第13地区	※ 村田町19号線上の生浜踏 切の拡幅及び前後道路の整 備について	「2019年度千葉市中央区町内自治会連絡協議会要望事項」において、車両の運行等の安全確保を主たる理由として、今後1 0年にわたって計画されている村田町19号線整備計画(平成31年2月街路建設課)のうち、生浜踏切の拡幅及びその前後の整 備について、早急な実施を市に求めたところ、 「・・・(略)・・・。今後、残る未整備区間について、道幅が狭い箇所など①緊急性の高い箇所から順に、測量や設計を実施 し、②次年度以降事業用地の取得を開始する予定としている。 なお、事業区間内にある生浜踏切については、・・・(略)・・・、③早期整備ができるよう、J R東日本と調整していく。」 との回答が担当課(建設局道路部道路計画課、街路建設課)からあった。 同回答の内容は、村田町19号線整備計画(平成31年2月街路建設課)の確認に止まっており、「早急な実施」の要望に対す る回答としては具体性がない。 よって、下記の3点について、その具体的な回答を求めるものである。 1 「①緊急性の高い箇所から順に」の優先順位とその箇所について 2 「②次年度以降事業用地の取得を開始する予定としている。」の具体的な年次計画について 3 「③早期整備ができるよう、J R東日本と調整していく。」の早期とは具体的にいつを目途としているのか、について				建設局 道路部	道路計画課・ 街路建設課
9	第13地区	※ 都市計画道路の早期着工・ 完成について「仁戸名町～ 古市場町線」	日頃から当地域の環境保全と環境整備に深いご理解と格別のご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。 表題のことにつきまして、平成6年度・8年度・更に平成12年度と要望書を提出し25年の歳月を迎えますが、着工の兆が見 えないため、平成30年度及び昨年(令和元年度)に再度要望書を提出いたしました。 昨年の回答によりますと、新規路線となる「生実町古市場町線」(平成27年度の都市計画道路の見直しにより、「仁戸名町古 市場町線」から変更)の早期事業化は難しい状況であり、本路線につきましては、整備中路線の進捗状況を見極めながら、優先度 を考慮した上で事業化を検討との回答をいただきました。 地元地域の強い要望もあり、優先順位の事柄と今後の見通しについて具体的にご説明をいただきたく、今年度も継続し要望いた します。 【明德高校前より生実台セブンイレブン間の早期着工を切にお願い申し上げます。 この完成により、地域の環状道路として利用でき、通学路の安全も確保され、特に、現状の急な坂をのぼるバス路線が変わるこ とによって、大変危険となっている道路状況が改善されることとなりますので、何卒ご配慮賜りたく、優先順位の打上と早期着 工、完成を要望いたします。】				建設局 道路部	道路計画課

令和2年度 中央区町内自治会連絡協議会要望事項一覧

No.	地区	要望事項 ※ → 継続要望	要 望 要 旨	市	区	市政	担当部局	担当課
10	第16地区	※ 都市計画道路「加曾利町大森町線」の早期整備について	第16地区連協の区域内である京成大森台駅付近を起点とし、大網街道までの「加曾利町大森町線」の整備に伴い、大森台駅の駅前広場やロータリーの整備も含まれると思うが、駅前広場から駅改札口までの動線についてバリアフリーに配慮して整備するようお願いし、また同時にエレベーターの設置についても同時に整備できるように京成電鉄と協議を行うこと。また、坂道の頂上付近となる喜久屋酒店前交差点（中央区仁戸名町601番地16地先）への信号設置について、道路整備と同時にできるよう中央警察署との協議を行うこと。 松ケ丘小学校の東側擁壁を改修し付近の歩道についても十分に幅員を確保するよう計画すること。 従来より要望している、松ケ丘小学校東側の中央区松ケ丘町552番地付近から中央区仁戸名町532番地先の大網街道までの区間の拡幅についても早急に実現されますよう要望いたします。			○	都市局 都市部 建設局 道路部 教育委員会 教育総務部	交通政策課 道路計画課・ 街路建設課 学校施設課
11	第16地区	松ケ丘町23・6号線の道路整備について	松ケ丘町23号線の終点部と松ケ丘町25号線の交差点に「一時停止標識」「停止線（止まれ）」「カーブミラー」の設置を要望します。当該地点は松ケ丘小学校・中学校の通学路にあたり、23号線を抜け道として使用する車が多く、児童・生徒との接触事故の危険性が非常に高いため、早急な整備改修をお願いいたします。また、松ケ丘6号線が松ケ丘公園と接している部分（松ケ丘公園入口交差点から松ケ丘公民館入口付近）は道路幅員が狭く、対面で車両が通行すると歩行者が歩けません。歩行者は公園内敷地を通ることを余儀なくされています。道路拡張による歩道整備、又は公園内に遊歩道を整備し歩行者の安全確保を要望します。当該地点も松ケ丘小学校・中学校の通学路にあたり、接触事故の危険性が非常に高いため、早急な整備をお願いいたします。			○	市民局市民自治推進部 建設局 土木部 道路部	地域安全課 中央・美浜 土木事務所 維持建設課 道路計画課
12	第16地区	仁戸名町16号線の道路整備について	松ケ丘中学校前の歩道部分より星久喜三差路交差点方面への歩道について、トップマート駐車場に隣接する部分が非常に狭く路盤も斜めになっており、車いすやベビーカーでの通行が危険である。早急な歩道の整備を要望します。			○	建設局 土木部	中央・美浜 土木事務所 維持建設課
13	第16地区	仁戸名町87号線の道路舗装改修について	仁戸名町87号線の終点付近（中央区仁戸名町526番地付近）の道路舗装について、各種工事により舗装表面に段差が発生しており、付近住民が転倒する事案が発生している状況です。速やかに道路舗装の改修をお願いいたします。			○	建設局 土木部	中央・美浜 土木事務所 維持建設課
14	第27地区	町会の集会場を避難所として活用するにあたって必要な備品の準備について	2020年5月1日、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針を策定されましたが、感染防止の具体的な対策方法として、避難所の過密状態防止が掲げられています。 その中の具体例として、町内自治会等に集会所を地域の避難場所として活用することについて協力を求め、その際は避難所同様感染予防や感染拡大防止に努めるよう周知とあります。 集会所を避難所として活用するのであれば、事前に災害用備蓄品を備える必要がありますので、千葉市から配布していただくか、もしくは備品購入の補助金を設定いただきたく存じます。 特にマスク、消毒液、ウェットティッシュ、ゴム手袋といった衛生用品の配備は一早くお願いしたいと考えています。			○	総務局	防災対策課

2 議題（２）令和２年度中央区町内自治会連絡協議会の活動研修会について

1 趣 旨

町内自治活動に直接関連する諸活動の状況、施設等を視察することにより、地域社会の発展と町内自治会の交流及び親睦を深めることを目的に、区町内自治会連絡協議会による活動研修会を実施する。

2 令和２年度活動研修会実施の可否について

新型コロナウイルスによる影響が不明確な中、例年１１月に開催している令和２年度の活動研修会をどのように実施するか以下のとおり開催方法と懸念される事項を記載いたしましたので、ご検討ください。

（１）通常通り開催した場合

- ・バスの中や施設見学の際に三密が避けられない。
- ・例年比較的高齢の方にも多く参加していただいているため、健康状態に配慮が必要。もしくは参加自粛により参加者が例年並みに集まらない可能性あり。
- ・施設側が団体を受け入れしていない、もしくは今後の状況により受け入れが中止となる可能性がある。

（２）参加人数を半数に減らして開催した場合

- ・例年比較的高齢の方にも多く参加していただいているため、健康状態に配慮が必要。
- ・施設側が団体を受け入れしていない、もしくは今後の状況により受け入れが中止となる可能性がある。
- ・バスの借り上げ費用等の支出に変更はないにも関わらず、参加者が半数の為費用対効果に疑問が残る。

（３）バスの台数を増やし、行き先を分散して開催した場合

- ・例年比較的高齢の方にも多く参加していただいているため、健康状態に配慮が必要。
- ・施設側が団体を受け入れしていない、もしくは今後の状況により受け入れが中止となる可能性がある。
- ・活動研修会に係る予算が不足するため、増額の必要があり。

（４）施設見学ではなく千葉市内の会場で講演会や研修会など別の方法で開催した場合

- ・参加人数に応じた会場確保が必要となるため、予め参加人数を各地区連協ごとに割り振る必要がある。
- ・町内自治会長は比較的高齢の方が多いため、健康状態に配慮が必要。
- ・今後の状況により会場側の受け入れが中止となる可能性がある。

（５）今年度の開催は中止とした場合

- ・地区連協を跨いだ町内自治会同士の交流や親睦の機会が失われる。

【2において(1)～(3)となった場合】

3 予 算 額

502,000円

(区連協補助金:350,000円、参加者負担金:152,000円)

※参加者負担金については、参加人数76人(1地区連協あたり6人と事務局4人)として計上したもの。

4 実施予定時期

令和2年11月(令和2年度事業計画に基づく)

5 町内自治会参加人数

72人(1地区連協あたり6人程度)

半数ならば36人(1地区連協あたり3人程度)

6 視察候補地(…現在の状況)

① 東京都虹の下水道館(東京都江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階)

…団体見学の予約受付・受入れを当面の間中止中(6/24現在)

② 旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設(東京都荒川区荒川8-25-1)

…6/1から見学の受入れ及び予約の受付を再開

③ 防災体験学習施設「そなエリア東京」(東京都江東区有明3-8-35)

…7月以降通常どおり団体予約は受け付けている。今後の状況により中止の可能性もある。11月はかなり予約が入っている。(6/24現在)

④ 千葉県西部防災センター(千葉県松戸市松戸558-3)

…現在の状況を踏まえ、当面の間、臨時休館を延長(6/24現在)

7 令和元年度活動研修会(参考)

(1) 実施日 令和元年11月22日(金)

(2) 視察先 東京消防庁本所都民防災教育センター(本所防災館)
(東京都墨田区横川4-6-6)

東京都庭園美術館(東京都港区白金台5-21-9)

(3) 参加者数 63人(町内自治会59人、事務局4人 バス2台)

(4) 経 費 458,936円

【2において(4)となった場合】

3 予算額

350,000円

4 実施予定時期

令和2年11月(令和2年度事業計画に基づく)

土日も含めて要検討

5 町内自治会参加人数

要検討(1地区連協あたり〇人程度等)

6 会場

参加人数の2倍以上の人数を収容可能な会場にて実施

例(1) 蘇我コミュニティセンター

多目的ホール 定員390名 3,160円/2h

ホール 定員100名 660円/2h

(2) 蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館

ハーモニーホール 定員200名 1,830円/2h

(3) 千葉市文化センター

アートホール 定員497名 17,790円/3h(平日9:00~12:00)

セミナー室 定員140名 10,560円/3h(平日9:00~12:00)

(4) 千葉市民会館

大ホール 定員1,001名 18,720円/3h(平日9:00~12:00)

小ホール 定員316名 5,500円/3h(平日9:00~12:00) 等

7 講演会・研修会の内容

例(1) 防災

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

(3) 町内自治会の抱える問題 等

中央区町内自治会連絡協議会 視察研修先一覧

中央区		
R1. 11. 22	視察先 日程 随同行	東京都 ○東京消防庁本所都民防災教育センター（本所防災館） ○東京都庭園美術館 日帰り あり
H30. 11. 16	視察先 日程 随同行	神奈川県 ○かわさきエコ暮らし未来館・資源化处理施設・メガソーラー展望スペース ○東芝未来科学館 日帰り あり
H29. 11. 17	視察先 日程 随同行	茨城県 ○国立研究開発法人 防災科学技術研究所 ○タカノフーズ株式会社 日帰り あり
H28. 11. 24	視察先 日程 随同行	千葉県 ○三陽メディアフラワーミュージアム ○ケーズハーバー ○ジャパン・リサイクル（株） 千葉リサイクルセンター、千葉バイオガスセンター ○新浜リサイクルセンター ○（株）グリーンアース 千葉キャピタルバイオマスセンター 日帰り あり
H27. 11. 18	視察先 日程 随同行	茨城県 ○神之池バイオエネルギー株式会社 ○地図と測定の科学館 日帰り あり
H26. 11. 12	視察先 日程 随同行	千葉県 ○東京ガス袖ヶ浦工場 日帰り あり
H25. 11. 12	視察先 日程 随同行	神奈川県 ○横浜市民防災センター ○日本新聞博物館 日帰り あり
H24. 11. 13	視察先 日程 随同行	東京都 ○東京臨海防災公園（そなえりあ） ○江戸東京博物館 日帰り あり
H23. 11. 11	視察先 日程 随同行	神奈川県 ○横浜市水道局新エネルギー発電設備（小雀浄水場） 千葉県 ○大洲防災公園 日帰り あり
H22. 11. 9	視察先 日程 随同行	神奈川県 ○東芝科学館 日帰り あり
H21. 11. 18	視察先 日程 随同行	神奈川県 ○横浜美術館 東京都 ○町田リサイクルセンター 日帰り あり
H20. 11. 5	視察先 日程 随同行	埼玉県 ○リサイクル・プラザJB ○鉄道博物館 日帰り あり
H19. 11. 12	視察先 日程 随同行	東京都 ○目黒区防災センター 地震の学習館 日帰り あり

令和2年度活動研修会 視察候補地

区分	視察先	移動時間	概要	見学時間	千葉市内区連協の視察実績	補足	同日行程案
下水	東京都虹の下水道館 (東京都江東区有明二丁目3番5号 有明水再生センター5階)	約45分	東京都虹の下水道館は、お台場有明地区にある東京都下水道局の広報施設です。 館内の「レインボータウン」を舞台に、普段入ることのできない下水道管やポンプ所、中央監視室、水質検査室で下水道の仕事を体験し、下水道に携わる人の思いや工夫に気づくことができます。有明水再生センター見学ガイドでは実際に下水を処理している様子を見学しながら、下水処理の仕組みについてわかりやすくご案内します。	2時間15分	なし	9時30分～16時30分の間で時間指定可能。 月曜定休日	<ul style="list-style-type: none"> ・「がすてなーに ガスの科学館」月曜定休 ・「江戸東京博物館」月曜定休 ・「日本科学未来館」火曜定休 他
下水	旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設 (東京都荒川区荒川8-25-1)	約1時間	旧三河島汚水処分場唧筒場施設は、隅田川中流に位置する旧下水処理場施設で、東京市区改正事業の一環として、東京市技師米元晋一を中心として建設が進められ、大正11年3月に運用を開始しました。 本施設は、わが国最初の近代下水処理場である旧三河島汚水処分場の代表的遺構として、高い歴史的価値が認められることから、平成19年12月4日に下水道分野の遺構では、初めて国の重要文化財(建造物)に指定されました。 阻水扉室、沈砂池などの一連の建造物が旧態を保持しつつまとめて残っており、近代下水処理場唧筒場施設の構成を知る上でも重要な文化財となっています。	1時間30分	なし	一度に受け入れられる最大人数は40名ほどのため、午前と午後にバス2台を分けて見学する必要があります。 時間はそれぞれ自由な時間設定ができる。	
防災	千葉県西部防災センター (千葉県松戸市松戸558-3)	約45分	防災に関する正確な知識と技術、防災に対する意識の向上を図り、災害時の自主的な対応力を育てるための千葉県の防災体験学習施設。災害から、暮らしや街を守るための情報や体験を、楽しみながら学べる施設。	1時間～1時間30分	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度美浜区 ・平成24年度若葉区 	<ul style="list-style-type: none"> ・インストラクターによるツアー形式での案内(受付時間9時～11時、13時～15時40分) ・ツアー出発まで20分～30分程度の待ち時間有 	
防災	防災体験学習施設 「そなエリア東京」 (東京都江東区有明3-8-35)	約45分	体験と学習2つのゾーンに分かれており、防災に関して多角的に学べる。「東京直下72h TOUR」では首都直下地震が起きたことを想定し、地震後の街や避難所生活を疑似体験できる。映像ホールでは地震に関するアニメを観られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災体験ゾーン<所要時間:約30分> ・防災学習ゾーン オペレーションルーム<所要時間:約30分> ・2階映像ホール<所要時間:約30分> 	1時間30分	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度若葉区 ・平成23・28年度緑区 ・平成27年度花見川区 ・平成24年度中央区 ・平成23年度美浜区 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイド付きツアーは30分毎。有料(料金定員30名:15,500円、30名を超える場合、520円/人加算) ・2班体制で見学 ・仮予約は不可 ・ツアーの時間は90分。そのため12時前後のスタートは昼食時間にかかってしまう 	